

グループ討議 課題

テーマ:リポジトリを活用するには

グループ名 [1B]

2018年度機関リポジトリ新任担当者研修



JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会

リポジトリが活用できていない

先生はリポジトリのこと
わかってくれるの
かな・・・？

コンテンツが
少なくて中身
スッカスカ・・・

そもそも大学が
博士論文公開しなきゃ
いけないことを
理解していないじゃ・・・

リポジトリ業務って
具体的に何をどうすれば
よいのかわからない・・・

著作権処理とか
個人情報の取扱いが
よくわからなくて
公開できないよ・・・



課題

①リポジトリ自体への理解不足

リポジトリって何？

公開しなきゃいけないの？

②リポジトリに対する手段不足

何をどうすればいいの？

何に基づいて判断すればいいの？

課題①の解決策

学内関係者に理解を広める取り組みを実施

■ 担当者

リポジトリに関する最新の情報を収集・共有

■ 教員

リポジトリの長所をアピールする説明会実施、コンテンツ登録への協力依頼

■ 大学

学術情報流通を取り巻く環境や、国の政策、答申などを根拠に大学トップへ説明

課題②の解決策

- リポジトリ管理規程、オープンアクセス方針、個人情報取扱い等各種ルール作りに関する情報を収集・制定
- リポジトリの公開許諾が得られるよう、紀要の投稿規定を改正
- リポジトリ管理担当者用のマニュアルと、教員にコンテンツ登録までのフローを説明するための資料を作成

期待される効果

■ 課題①に対して

- 成果物公開の場として認知度が高まる

■ 課題②に対して

- 根拠(規程や学内方針)をもとにコンテンツの登録を呼びかけられるようになり、訴求力が高まる
- 著作権処理や個人情報の扱い等の判断がしやすくなる
- 担当者・教員の役割が明確になり、引き継ぎもスムーズになる



リポジトリの活用が進む！